

会 議 録

| | | |
|------|--|---|
| 会議名 | 令和7年度第4回小金井市図書館協議会（視察） | |
| 事務局 | 図書館 | |
| 開催日時 | 令和8年2月12日（木） 午後1時30分～午後4時30分 | |
| 開催場所 | 図書館 地階 集会室 | |
| 出席者 | 委員 | 大串委員、清水委員、林委員、本橋委員、伊丹委員、八木委員、近松委員、武井委員、二宮委員 |
| | 欠席者 | 伊東委員 |
| | 事務局 | 三浦図書館長、吉田庶務係長、吉田奉仕係長、若藤奉仕係主査、田邊主事 |
| 視察先 | <p>(1) 本館</p> <p>(2) 西之台図書室</p> <p>(3) 東分室</p> <p>(4) 緑分室</p> <p>(5) 貫井北分室</p> | |

【大串委員長】 それでは、時間が来ましたので、委員の方、出席の予定の方はみんなおそろいになって、やっぱりインフルエンザで、前は私がインフルエンザになって誠に申し訳ない。電車で座っていたら、前の若者がごほごほ始めまして、それでじっと頑張ったんですけどどうつってしまいまして。皆さん、大変御迷惑をおかけして、すみませんでした。今日はあれですか、私が何か一言御挨拶をすると。

【三浦館長】 冒頭、委員長から自己紹介を兼ねて御挨拶いただきまして、その後、段取りについて私のほうから御説明したいと思います。

【大串委員長】 私、大串夏身と申しまして、夏身というからには女性という声はどこからでもありまして、講演会なんてやると、会場がしーんとなることもございますけども、冗談ではなくて、私の場合、健康保険証はいまだに女性でございまして、厚生省に申し出たら、「そういう誤りは想定してないから直せない」と言われまして、それで、ずっとまだ国の情報は女性でございまして、男なんですよね。

それで、今日は各図書館を見て回るわけでございますけども、一言だけ申しますと、今、私どもの図書館に対する御批判がいろいろございまして、貸出しだけでやってるんじゃないとか、いろいろございまして。

ただ、これはやっぱり歴史がございまして、日本、要するに公共図書館の出発点はどこにあったかという、社会の変化の中で中間層が出てきたときに、その中間層に対するターゲットとして公共図書館が造られてきたんですよ。日本の場合、若干造る時期が遅れまして、明治30年代になるんですけども、そのときは日本の資本主義はちょうど新たな段階に到達すると、まず帝国主義の段階に到達するというので、そこで出てきたのが新中間層なんです。

新中間層というのは、我々と同じで、知識を売り物にして、それで仕事をして、収入を得るという、こういう人たちで、その知識を得るために学校に行かなくちゃいけないと。学校に行くだけじゃなくて勉強しなきゃいけないんですよ、学校以外のところでも。

それで実は造られた図書館が彼らの勉強の場になったわけですね。そうすると、「静かにしなさい」ということは言われました。実は、その当時、まだ日本人というのは、みんな本を読むときは、どこでも家の中でも、それから、こういう人の前でも、馬車の中でも、待合室でも、どこでも声を出して読んでたんですよ。だから、当時の新聞とか雑誌を見ますと、「やかましい」という、こういう御批判がいろいろありまして、それで図書館がそういうところで、最初、帝国図書館なんかやっぱり声に出してみんな読んだんですけども、「もう静

かにしなさい」ということで、それから日本の図書館はずーっと静かにしていた。

それから、もう一つ言うと、1970年代から市民の図書館というのが出まして、非常に図書館を活発にしようということで各地に図書館ができた。そのときに住民の方々の要望が殺到したんですよ。私もそのときにいまして、図書館に。本をどんどんどん借りられるのはいいんですけども、今度返してきたものを本棚に返そうというときにも、カウンターの前に人が群がりまして、返せないんですよ。

そうすると、どうするかというと、もう返せない状態でとにかくほったらかしにするから、袖に積み上げたりなんかして、皆さんに見ていただいて、ブックトラックなんか全部それに使われましたね。それで少し人がいなくなったときに、一生懸命本棚に返したんですけども、本棚に返すときも所定の場所に返すというよりは、とにかく棚に投げるという感じで戻しましたね。

それで、カウンターを維持するために、ほかのサービスはみんなやめちゃった、これは。ですから、レファレンスサービスが最初にやめまして、それから児童サービスは半分ぐらいやめちゃいまして、私、ちょうど、その真ただ中にそういう仕事をしてまして、もう疲労困憊なんですよ。

私の友達が、一緒にほかのどっかへ異動して、その場所に来た女性の方がいらっしゃったんですけども、その方は笑い話で、みんなでしゃべってるときに、娘さんが言った。「お母さん、この頃、顔がこわばって変よ」と、「うちの中でも顔がこわばって」、非常に何ていうんですか、「以前のお母さんとは全然違っちゃってるけど、どうしたの?」と言われたとは言っていましたが、それほど体が疲れていたわけですね。

だから、そういう時代が終わったなど、だいぶ落ち着いたなどというときに、コンピューターが導入されて、市役所のほうから「コンピューター導入されたから、効率的になるんだから人を減らせ」と言われたんですよ。それで、結局今の状態になっちゃったんですよ。

だから、どうしても私どもの今の図書館サービスというのは、もう資料提供ということを経いっぱいやってきたというのが今の状態なんです。それは、子どもの読書だとか、いろいろ努力されて、図書館員の方々がいろんなことをやろうとされているんですけども、それは、まだ我々が期待するようなどころまでは到達していないという、こういうことはあるんですね。

だから、その辺は皆さん十分御理解いただいて、ほかの市でも図書館批判がございまして、やっぱり、それは、例えば、整理や何かでも手を抜いてるんだとかいろいろ言われるんです

けど、昔はちゃんとやったんですけどね。もうやっぱり手を抜かざるを得ない状況に立ち入っちゃったんです。

だから、本棚に移すときも、どーんと戻すような、そういう戻し方をしちゃったもんですから、1冊1冊が所定の場所にきちっと収まるように戻して、それを我々が使うというふうには、今、ちょっと残念ながらもなっていないとかそういうこともございまして、ですから、ちょっと温かい目で図書館を見ていただきたいなというのが私の気持ちでございます。

どうも長い間、話になって、すいませんでした。一つよろしく願いいたします。

【三浦館長】 ありがとうございます。

それでは、皆様、お忙しい中御参集いただきましてありがとうございます。

本日は、前回会議で少しお話をさせていただきましたとおり、次年度4月以降、令和8年度に入りますけれども、図書館基本計画の改定を予定してございます。その参考に資するために、図書館協議会委員の皆様には、最初、本館の中を御覧いただいて、以下、市内の各分室にも足を運んでいただいて、今後の議論の参考にさせていただければと思っております。

この後、皆様の準備が整いましたら、まずは本館を少し御覧いただいて、出発をさせていただきます。全行程、バスで移動いたしまして、16時30分頃を目途にこちらに戻ってくる形になってございます。したがいまして、貴重品以外の物はこちらに置いておいても大丈夫でございますので、よろしく願いします。

順番でございますけれども、ルートは、西之台図書室というのが坂下でございます。その後、東分室、緑分室、貫井北分室の順番で巡っていかうと思っております。

なお、視察時間につきましては、本日中に全ての館を見たいと思っておりますので、駆け足になって大変恐縮でございますけれども、最初に訪問する西之台図書室、規模も小さいので10分か15分ぐらいということでございます。その他、分室については、大体30分程度を予定しているところでございます。現地には、それぞれ分室の施設長がおりますので、何か御質問があれば、そこでいただければと思っております。

視察のときのポイントなんですけれども、小金井市の図書館はどこも古いんです。ですので、施設的なところを御覧いただくと、多分、目に付くところはたくさんあると思うんですが、そういうところもちろんなんですけれども、施設ごとの図書の配架の状況であるとか、各館ごとにディスプレイとかも工夫していますので、そういうところをぜひ着眼点として見ていただければ大変ありがたいと思っております。施設の長短を比べちゃうと勝ちようがないので、そここのところはぜひよろしく願いいたします。

あと概略でございますけれども、本館については、直営方式といって正規の職員を配置してございますけれども、東分室、緑分室、貫井北分室につきましては、市内のNPO法人に委託をしておりますので、我々は市の職員でございますけれども、委託館については、NPO法人の職員になってございますので、そこら辺はちょっと運営方式が違うというところであらかじめ御紹介させていただきます。

現地で御質問いただくとか、あるいは時間があれば、こちらに戻ってきて、16時半以降、少し意見交換なんかをしていただけるとありがたいなと思っております。細かな質問なんかがもし出ちゃったときに、分館のほうでもお答えできないことがあるかもしれません、そういうときは次回以降、お話しさせていただきたいと思っておりますので、何か素朴に思っただころがありましたら、ぜひ現場でお尋ねいただければと思っております。

すみません。私は市議会を控えておりまして、議員さんとのアポイントメントが入っております、1回抜けて、また追いかけますので、よろしく願いをいたします。

現時点ではこんなところでございますが、何か今日の段階で御質問等はございますか。今日は、御覧をいただくというのが中心になると思っておりますので、皆さんも御利用いただいている館もあるかと思っておりますが、少しバックヤードなんかもお見せしますので、忌憚のない御意見をいただければと思っております。どうぞよろしく願いをいたします。

では、早速ではございますが、本館のほうを御案内いたしますので、貴重品だけお持ちになっていただいて御覧をいただければと思っております。

(視察)

【大串委員長】 どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

それで、もう4時半なんで、今日はこれでおしまいにしないと、これから御予定のこともおありだと思っておりますので、皆さんの御感想やなんかは次回にいろいろと整理していただいておりますので、今ここでしゃべりたいというのはありますか？

いや、最後にいい図書館を見ちゃったもので、ああいう図書館があると、小金井の図書館は将来明るいというような、こういった気持ちになって帰っていただけるんじゃないかと思うんですけど。ただ、いろいろその前のほうの図書館がいろいろ問題ありそうだなという、こういう気持ちにもなっていたらいいかなとも思っています。

だけど、いずれにしろ最後のあそこはなかなか、説明された方もなかなか、そういういろんな展示やなんかいろいろあって、それからいろいろ新しい試みもされているようで非

常によかったなと思うんでございますけれども、そういうことでちょっと時間もあれなので、今日はこの辺でおしまいにしたほうがいいじゃないかと思えますけど、何か館長ございますか？

【三浦館長】 今日の視察に関して、御意見等があれば・・・。

【大串委員長】 御意見は、次回に、メールか何かでも寄せていただいても構いませんけど、事務局に。特に質問があれば、事務局にまた寄せていただいて、次回にお答えをいただくというのがいいと思うんですよね。次回の日程がまだ決まっていないんだよね。

【吉田庶務係長】 はい。まだ決まっていないので。質問等は改めて次回にお願いしたいと考えています。

来年度は図書館基本計画の策定等ありますので、4月に開催をさせていただきたいと思っております。その日程の候補を挙げさせていただいて調整をさせていただきたいと思っておりますので、それに向けて、こういった内容をお願いしたいというのを含めて、そのタイミングでお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

【三浦館長】 ゴールデンウィーク前に、皆様にまたお会いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【大串委員長】 そうですね。一つよろしくお願ひいたします。どうもありがとうございました。

【三浦館長】 すみません。本日はありがとうございました。

【大串委員長】 どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

— 了 —